

スマホ版 β 版 個別避難訓練

想定される津波から逃げのびろ！
避難訓練タイムトライアル



スマホ版個別避難訓練とは？

一人ひとり個別に（または、家族単位で）行う津波避難訓練「個別訓練タイムトライアル」は、避難に関する問題を個人ごとにつかんで対策を考えるための津波避難訓練で、高知県で大きな実績を上げてきました。これをスマートフォンのアプリに展開したものが「スマホ版個別避難訓練」です。スマホさえ持っていれば、「いつでも、だれとでも、思い立ったらその場で気軽に」津波避難訓練が可能になります。

このアプリのねらい

「最大の津波被害軽減策」であるとされた「早期避難」。いざ！というときに確実に避難できるようにするためには日頃からの避難訓練の繰り返しが必要です。でも、いつもの一斉避難訓練は「面倒だ」「たぶん大丈夫」と敬遠されがち。このアプリは、個別に、思い立ったときに、気軽に避難訓練をやってみることができるように開発しています。

また、避難の過程では、避難の成否を左右する判断にいくつも迫られます。「いつ避難を始めるか」、「どこに避難するか」、「どの道を通っていくか」…。このアプリは、最新の津波の想定データと比較しながら自分の避難訓練を分析し、このような判断に役立つデータを提供することで、よりよい避難を考えられるように工夫されています。

スマホ版 個別避難訓練でできること

想定に基づいた避難訓練



避難訓練中、いま、津波がどこまでやってきているのか、5分後、10分後にはどこまで来るのか、地図で確認しながら、臨場感のある避難訓練ができます。津波のデータは最新の想定に基づいています。

避難訓練をその場で分析



訓練終了後、すぐにその場で、避難は成功したのか、失敗したのか、失敗した場合、「あと何分早く避難を始めるべきだったのか」や、「どこで津波に追いつかれたか」などがわかります。

避難訓練を記録



大事な避難訓練の結果は忘れないようにスマホに記録しておくことができます。前回の訓練を思い起こし、それよりもいい結果になるように、工夫して訓練を繰り返し、確実に避難できるようにしましょう。訓練の記録にメモを書き込めば、私だけの「避難カルテ」ができあがります。

アプリの流れ



避難訓練データの活用

一人ひとりの訓練でも、データをみんなで集めれば、その地域で人々がどのように避難するかが見えてきます。これは、地域の危険な場所はどこか、避難者が集中するのはどこか、どこに避難路や避難場所を作るのが効果的かを検討するための重要なデータとなります。

また、このデータは緊急時に避難を支援するための基礎データともなります。数年後にはこのデータを活用して、スマホで緊急時の避難支援を行う仕組みを開発する予定です。

このアプリは、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム 課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」⑦地域連携による地域災害対応アプリケーション技術の研究開発「津波避難訓練および支援ツールの開発研究」により開発しているものです。

お問い合わせ先

京都大学防災研究所 矢守研究室 スマホ版個別避難訓練プロジェクトチーム

E-mail: sip-yamori@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp FAX: 0774-31-8294

Android版アプリ
ダウンロードは
こちらから



<http://www.drs.dpri.kyoto-u.ac.jp/sip>